

達生堂グループに 38 人が入職

初心忘れずに努力したい

達生堂グループの合同入職式が4月2日に開かれ、城西病院に21人、社会福祉法人達生堂「ヒューマン・ハウス」に8人、「すばる」に7人、ショートステイ「みぶの杜」に2人の計38人の新人が入りました。

入職式で多田正毅理事長は、達生堂グループのルーツになる「達生堂」について「江戸時代に今の日銀本店の場所で、達生堂として産科と内科を行っていた」と成り立ちを説明し「医療・福祉でたくさんを経験しないといけない。医療・福祉は弱い人を助けることが大切。これからもっと弱い人が出てくる。そしてアフガニスタン難民支援やタイの支援など、国際的な支援も公益財団で行い、ぜひその活動にも参加してほしい」とあいさつしました。

白石裕比湖院長らスタッフが出席する中、入職者を代表して看護部の平山瑞姫看護師が「優しさと思いやりをもって多くの患者さまに寄り添った個別性のある看護を行えるよう、精いっぱい努力したい。初心を忘れず健康へのお力添えとなるよう心掛けたい」と抱負を語りました。

平成30年4月2日

